

#### 4. 知的価値を生み出し、世界で活躍する高度人材・グローバル人材を育成・獲得する

##### 【現状と課題】

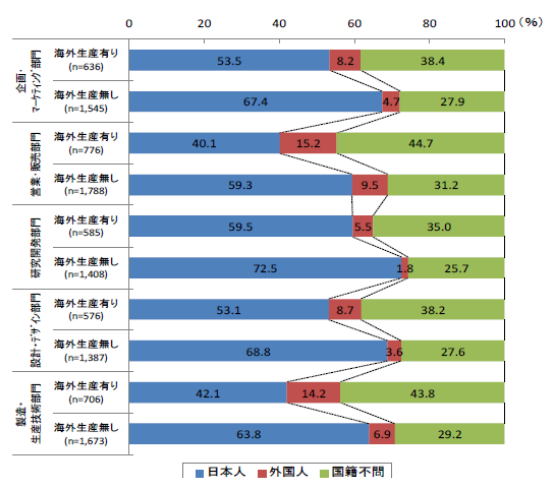
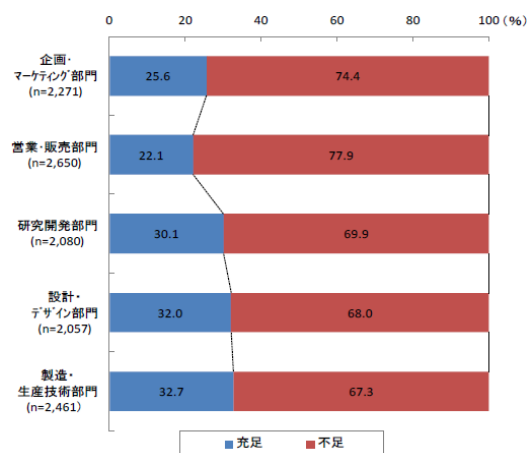
○最先端の科学技術や製品を創出する高度人材の育成を図るうえでは、地域の知的資産の拠点である大学の役割が重要である。産業界においては、産業構造の変化や国際分業体制の進展などを受け、幅広い視点とグローバルに活躍できる能力、高度な知識・情報を社会や市場につなぐ能力を有する人材を求めている一方、大学においては、近年、研究領域が拡大・細分化してきたことから、育成される人材も特定専門領域に特化する傾向にあり、イノベーションを担う人材として産業界が求める幅広い基礎知識と課題発見・解決能力を有する人材を十分に供給できていないとの指摘もある。

○企業の海外展開を支えるグローバル人材は、あらゆる部門において不足感が高くなっている。また、海外生産を実施している企業ほど、グローバル人材の確保において、どの部門でも「日本人」国籍にこだわらない傾向が強くなっている。(図表 3-4-1、図表 3-4-2)

○欧米だけでなく中国などの新興国でも、研究開発投資に多額の資金を投入するとともに、高度人材の獲得を国家戦略として進めている。また、少子化や若者の理工系離れが進み、企業の海外展開が拡大していくなかで、必要な人材を国内だけで調達するのは困難になっていくことも見込まれる。そのため、海外の高度人材の確保が重要性を増しているが、愛知県内の文系の留学生の7割近くが日本での就職を希望している一方、理系の留学生で日本での就職を希望しているのは半数ほどに留まっている状況にある。(図表 3-4-3)

○愛知県、東京都、大阪府の大学入学者数に占める地元高校出身者の割合をみると、愛知県は64%となり、東京都や大阪府と比較して突出して高く、全国では沖縄県、北海道に次いで3番目に高い数値となっており、若者の地元志向の傾向があらわれている。(図表 3-4-4)

##### <参考データ>



[左] 図表 3-4-1 グローバル人材の確保状況 (部門別)

[右] 図表 3-4-2 グローバル人材確保の方針 (海外生産有無別)

出典：経済産業省、厚生労働省、文部科学省「ものづくり白書 2012年版」

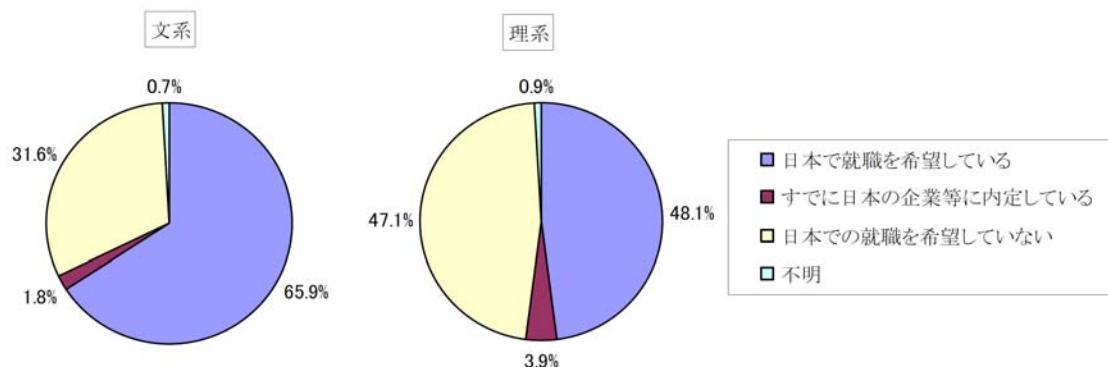
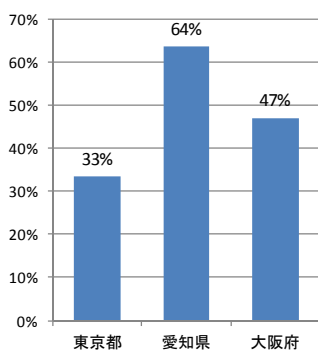


図1:卒業・修了後の進路 文系・理系別(文系 n=1547、理系 n=561、単位=%)

図表 3-4-3 県内留学生における文系・理系別日本での就職希望  
出典：愛知県「平成 21 年度県内留生意向調査」



図表 3-4-4 各県の大学入学者数に占める地元出身高校の割合  
出典：文部科学省「平成 24 年度学校基本調査」

【施策の方向性】

- 大学における質の高い研究や特色のある研究が数多く行われるよう、国の研究資金の獲得などにおける連携など、地域としての積極的な支援
- 研究開発の成果を実際のイノベーションにつなげていくため、大学と企業・地域等による共同研究の促進や、経営・マーケティングなど文科系分野との連携の促進
- 英語をはじめとした語学力の向上、海外インターンシップなど若者が外国で自己研鑽に励む機会の充実
- 高度な知識や技術を持つ外国人人材やその予備軍となる留学生・研修生の積極的な獲得。とりわけ、企業ニーズの高い理系の人材を獲得し、地元企業の就職につなげていく仕組みづくり